

第七十五回
貴族議院

所得稅法改正法律案特別委員會議事速記録第五號

昭和十五年三月二十三日(土曜日)午前十時十三分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ所得稅法改正法律案外三十六件ノ特別委員會ヲ開會致シマス

○子爵大河内輝耕君 私ハ二三點地方局長ニ伺ヒマス、ソレデ若シソレニ依ッテチヨット後デ内務大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ、是ハ其ノ時ニ申上ゲマス、第一ハ御渡シ下サッタ配付標準デゴザイマスガ、配付標準デ他ハヨク分リマシタノデス、極メテ明瞭ニ分リマシタノデスガ、唯一二點ムヅカシイ所ガアリマシタノデソコダケ伺ヒタイト思ヒマズ、其ノ一つハ此ノ表ノ第一種配付稅ノ四ト書イテアル所ノ最後ニ二億二千萬圓ト數字ガ出テ居リマス、是ハ斯ウ云フ意味ナシニセウカ、單位稅額ガ標準稅額ニ不足スル、減ダケノ數字ヲスッカリ撰り出シテ、サウシテソレヲ合算シタモノ、サウ云フ風ニ解釋シテ宜シイノデスカ

○政府委員(挾間茂君) 御答ヘ致シマス、此ノ四ニ掲ガテ居リマスル數字ハ一番上ニ掲ゲテアリマスル算式ノ分母デアル各道府縣ニ付キ計算シタルモノト書イテゴザイマス、是デゴザイマシテ、各道府縣ニ付キシテ標準單位稅額カラ各道府縣ニ付テノ單位稅額ヲ減ジマシテ、其ノ減ジマシタ商ニ人口ヲ乗ジマシタ此ノ各道府縣ノ總額デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ餘ツタ縣ハ無論是ハ除外シテアリマスノデスガ、足ラ人頭は除外シテアリマスノデスガ、足ラ

ナイ府縣ダケヲ合算シタモノト見テ宜シイデスカ

○政府委員(挾間茂君) 其ノ通リデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト足ラナイ縣ト云フノハ全體ノ幾割位デゴザイマスカ

○政府委員(挾間茂君) 是ハ實際ニ付テ計算致シマセヌトハッキリ分リマセヌガ、大體ノ見込トシテハ一二縣ヲ出デナイダラウト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 一二二縣デスカ

○政府委員(挾間茂君) ハイ

○子爵大河内輝耕君 誠ニ變ナノデ、標準單位稅額ト云フモノハ平均デアルヤウニ思ハレマスシ、サウスレバ資力ノ弱イ縣ハ皆不足スルヤウニ思ヒマスガ、タッターワンカニツト云フハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(挾間茂君) 配付稅ノ配付ノ元ノ問題ニナル譯デゴザイマスガ、詰リ配付稅ト云フモノヲ如何ニシテ分ケルカト云フ

○政府委員(挾間茂君) 御覽戴キマス通り標準單位稅額ト云フ中ニハ配付稅ノ總額モ加ハシテ居リマスカラ、標準單位稅額ハ各府縣ノ單位稅額ト較ベマスト相當額ガ大キイノデス、併シ獨立財源ガ非常ニ豐富デアリマス、是ハ縣トシマシテハ非常ニ財政ノ豊かな縣ニ付キ計算シタルモノト書イテゴザイマス、是デゴザイマシテ、各道府縣ニ付キシテ標準單位稅額カラ各道府縣ニ付テノ單位稅額ヲ減ジマシテ、其ノ減ジマシタ商ニ人口ヲ乗ジマシタ此ノ各道府縣ノ總額デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ餘ツタ縣ハ無論是ハ除外シテアリマスノデスガ、足ラ

ナイ府縣ダケヲ合算シタモノト見テ宜シイデスカ

○政府委員(挾間茂君) 其ノ通リデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト足ラナイ縣ト云フノハ全體ノ幾割位デゴザイマスカ

○政府委員(挾間茂君) 是ハ實際ニ付テ計算致シマセヌトハッキリ分リマセヌガ、大體ノ見込トシテハ一二縣ヲ出デナイダラウト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 一二二縣デスカ

○政府委員(挾間茂君) ハイ

○子爵大河内輝耕君 誠ニ變ナノデ、標準單位稅額ト云フモノハ平均デアルヤウニ思ハレマスシ、サウスレバ資力ノ弱イ縣ハ皆不足スルヤウニ思ヒマスガ、タッターワンカニツト云フハドウ云フ譯デスカ

○子爵大河内輝耕君 同ジ標準デナクテ、妙ナ片方ハ配付稅ヲ加ヘル、片方ニ加ヘナイト云フコトヲ御ヤリニナッタノハドウ云フ譯デスカ

大部分デゴザイマス、チヨット申上ゲテ置キマスガ、標準單位稅額ト申シマスノハ、還付稅額ト國稅附加稅額ノ一人當リデゴザイマスカラ、非常ニ低イ譯デゴザイマス、從ツテ大抵ハ不足スル縣ニナリマスガ、財源ガ極メテ豊富デアル縣ノミハザイマス、從ツテ標準單位稅額ヲ越エルコトモ起ル得ルカト存ジマス

○政府委員(挾間茂君) 同ジ標準デナクテ、妙ナ片方ハ配付稅ヲ加ヘル、片方ニ加ヘナイト云フコトヲ御ヤリニナッタノハドウ云フ譯デスカ

○子爵大河内輝耕君 同ジ標準デナクテ、妙ナ片方ハ配付稅ヲ加ヘル、片方ニ加ヘナイト云フコトヲ御ヤリニナッタノハドウ云フ譯デスカ

ルノデスガ、此ノ四ト云フ數字ヲ掛ケタノハ、是ハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(挾間茂君) 此ノ小學校兒童ノ超過數ヲ加ヘマス理由ニ付テヨット申上ゲテ置キタイト存ジマス、各道府縣ノ財政需要ヲ見マス場合ニ、大體是ハ人口ニ依ルベシモノデアルト存ズルノデアリマスガ、併シ道府縣ニ付テ考ヘマスト、小學校教員ノ俸給費ト云フモノハ、道府縣歲出ノ相當大キナ部分ヲ占メテ居ルノデアリマスノデ、シテ此ノ小學校兒童數ト云フモノヲ財政需要ノ中ニ加ヘルコトガ適當デアルト考ヘマシテ、割増人口ノ標準トシテ小學校兒童ヲ考慮シタノデアリマス、サウ致シマシテ此ノ四倍ト致シマシタノハ斯ウ云フ理由デゴザイマス、全國ノ小學校兒童ノ總數ガ大體一千萬人ゴザイマシテ、教員俸給ガ二億圓餘リニナリマス、其ノ中半額ハ國庫ノ負擔トナルコトニナッタ居リマスカラ、大體一千圓餘リガ府縣ノ負擔ニナルノデアリマス、之ヲ一千萬人テ割リマスト、兒童一人當リ大體十圓ヲ各府縣が負擔シテ居ル譯デアリマス、一人ニ付テ十圓ヲ負擔シテ居リマス、假定ト致シマシテ此ノ十圓ノ半額程度ヲ割増人口ノ關係ニ於テ見テヤリタイト斯ウ云フ考デアリマス、此ノ十圓ノ半額ノ五圓ノ算出ヲ致シタノデアリマスガ、是モ假定デゴザイマスガ、配付稅ノ、第一種配付稅ガ道府縣ニ割當テラレマスル額ガ大體人口一

人當リ一圓二十錢内外デゴザイマス、ソコデス、一圓二十錢内外デゴザイマス

人口、兒童ノ數ガ、各府縣ノ兒童數ガ全國平均兒童數ヨリ超過致シテ居リマス割合ノ大體四倍ニ致シマスト、一圓二十錢ノ四倍ス大體五圓ニ近クナリマスカラ、ソレデ十分ノ半額ヲ是デ割増トシテ認メヨウト云フコトデ、此ノ全國兒童數ニ超過シテ居リマス兒童ヲ持ツテ居リマス府縣ニ付キマシテハ、其ノ四倍即チ五圓均シ割増人口トシテ認メルト云フノデ四倍ト致シタノデアリマス

ト、ドレグケ其ノ縣ニ於キマシテハ兒童ガ全國平均ヨリモ超過致シテ居ルト云フ數字ガ出ルノデアリマシテ、ソレヲ四倍シタノデアリマス、其ノ本ハ、四倍ヲスルト云フ本ハ、今申シマシタ金ヲ基礎ニシテ考ヘタノデアリマス。

○子爵大河内輝耕君 モウ一遍伺ヒマス、能ク分ッテ來マシタガ、五圓ト一圓二十錢トノ關係ヲモウ一遍仰ッシャッテ下サイ

○政府委員(狭間茂君) 配付稅ヲ財政需要ニ依リマシテ配付致シマスト大體一人當リ一圓二十錢、割増人口一人當一圓二十錢前後ニナルノデアリマス、ソレヲ四倍致シマスト大體五圓ニ近イ金ニナリマス、ソレデ小學校兒童一人ニ付テ府縣ハ大體十圓程度ハ負擔致シテ居リマスカラ金額トシテ半額ト云フモノヲ此ノ割増デ考ヘルト云フ假定ノ下ニ斯ク割増人口ノ數字ヲ出シタノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、ソレデ次ニ質問致シマスノハ此ノ負擔區分ナノデスガ、負擔區分ヲドウモ内務省ガ知ラナイ中ニ地方團體ガ負擔スルヤウナコトニナリ、議會ハナンダガ譯ノ分ラヌ中ニ地方ノ團體ガ負擔スルヤウニナル、地方ノ團體ガ議會ガ知ラズ内務省モ知ラヌ中ニ負擔ガ殖エテ來ルト云フコトニナルト何度地方財政ノ整理ヲヤッテ見タ所デ致シ方ガナイ、ソレデ此ノコトヲ内務大臣ニ質問致シマシタガ、内務大臣ノ大體ノ御希望ハ分リマシタ、御趣旨ハ能ク分リマシタカラ内務大臣ニハ別ニ申スコトハナイノデアリマスガ、具體的ニドウナサル御積リデスカ、ナンカ會議ヲ開イテヤルトカ云フ御詫ナノデス

が、マア私ノ建前ノ考、想像シタ建前ヲ申
上ゲレバ豫算デモ開カレル前ニ各省デ御集
リニナッテ、此ノ豫算ヲ作ルニ付テ、立テル
ニ付テハ地方團體ノ費用ハ幾ラ幾ラヤルコ
トニナルト云フコトヲ御決定ニナッテ、無論
ソレニハ内務大臣ガ御參與ニナッテ、サウシ
テ御決メニナル、斯ウ云フコトニナサルノダ
ラウト思ヒマス、併シ一方議會ニ對シテハ
地方團體ノ經費ハ無論國費ニ於テモ是ダケ
殖エルガ、其ノ殖エルニ付テハ地方費モ是
ダケ殖エルノデアルト云フコトヲハッキリ
シテ、サウシテ議會ノ協賛ヲ御求メニナル、
此ノ二ツノ方法ガ必要ダラウト思ヒマス、
私ハマアサウ云フ風ニ考ヘルノデスガ、併
シ内務省ノ御腹案トシテノ具體的ノ方法ヲ
伺ヒタイ

ゴザイマスカラ、ソコノ區分ガ相當ムカシヤウニ考ヘテ居リマス、從ヒマシテソレニ對スル地方ト國トノ負擔ヲ如何様ニスルカト云フコトモ各事務ニ付キマシテ考決定致サナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマシテ、先日内務大臣ガ御答ヘ申上ゲマシタノハ今回内務省ニ地方行政ノ聯絡委員會ヲ設ケルコトニナツテ居リマスノデ、之ニ關係ノ各省ノ關係官ガ集リマシテ、地方行政上ノ聯絡ニ付テ審議協議ヲ遂ゲルコトニナツテ居ルノデアリマス、負擔區分ノ問題ニ付キマシテモウ是等ノ機關ヲ通ジマシテ十分案ヲ練リタイト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、一面是ハ國ノ財政トモ非常ニ密接ナ關係ガゴザイマスノデ、其ノ點ハ餘程慎重ニ考慮シナケレバナラナイカト存ジマス、尙御尋ノゴザイマシタ此ノ地方費ヲ件フ國ノ豫算ヲ編成スル場合ニ、内務省ト會議スルト云フ問題ニ付キマシテハ、古伊聞議ニ於キマシテ決定ヲ見タコトモゴザイマスノデ、其ノ點ハ十分將來考究ヲ致シタイト存ジテ居リマス

ナイ、其ノ豫算ヲ大藏省ニ提出スル際、又大藏省ニ査定ヲ受ケテ、最後ノ決定ヲスルト云フヤウナ場合ニハ、其ノ委員會ニ掛ケラレモノナシ、是ハ必ズ掛ケテ戴キタ

イト思ヒマスガ……

○政府委員(挾間茂君) 此ノ聯絡委員會ノ構成機能ニ付キマシテハ、マダハッキリト致シテ居リマセヌ、何レ官制ニ依リマシテソコハ定メラレルコト思ヒマス、此ノ地方費ト國費トノ關係ニ付キマシテハ、從來モマア出來ル限り聯絡ヲ執ルヤウニ致シテ居リマスガ、仰セノ點ニ付キマシテハ今後共是等ノ機關ヲ通ジマシテ、出來得ル限り完全ナ聯絡ヲ執ルヤウニ致シマシテ、此ノ兩者ノ負擔區分ノ問題ヲハッキリト致シタ伊ト思ツテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ點ハ一つ制度、決メテ戴キタイト私ハ思ヒマス、ドウモ大變地方財政ニ熱心ナ大臣ガ來ルト、非常ニヤカマシク言ツテ我々ノ言フ所モ直グ通ルガ、其ノ人ガ迭ルトモウ投ゲヤリニナッテシマフ、今ノ内務大臣ハ大藏省ニモ居ラレタシ、サウ云フコトハ非常ニ緻密ニ御考ニナル方デ、是ハモウ分リ切ッタ方ナノデスガ、又中ニハ何等サウ云フコトニ頓著シナイ方モ見エル、サウスルト投ゲ出シテシマ

フ、何カ是ハ制度トシテ斯ウ云フ場合ニハスウスルンダ、例ヘバ會計法ノ上ニ豫定經費要求書ノ外ニ、サウ云フ地方費ノモノヲ参考書トシテ必ズ附ケルト云フコトモ一ツ方法ダシ、或ハ聯絡委員會ヲ折角決メルナラソレ引用シテ來テ、サウシテ地方費ノ增加ニ付テハ、ソレト了解ヲ遂ゲルト云フコトヲ必ズ其ノ議ニ掛ケルト云フヤウナコトヲスルノガ、ソレハ諸問デモ宜イト思ヒ

マスガ、サウ云フコトヲハッキリ何カ會計法ナリ官制ナリノ上ニ現シテ置クト云フコトハ必要グラウト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○政府委員(挾間茂君) 制度化スル點ニ付キマシテハ、尙十分考究ヲ致サナケレバナラナイカト存ジマスガ、今仰セニナリマシタヤウナコトニ付キマシテハ、内務省トシテモ出來得ル限り財政當局ト聯絡ヲ執リマシテ、將來ニ付キマシテハ十分ナル考慮ヲ致シタイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 能クソコハ御考ニナ

ルヤウニ……尙委員長ニ願ツテ置キマスガ、後二ツゴザイマスガ、大臣ノ問題ニナリマスト内務大臣ニ出テ戴キタクナルト思ヒマスカラ、チヨット今豫告シテ置キマス

○委員長(伯爵林博太郎君) サウスレバ午前中ニ成ルベク質問ヲ終リタイト思ヒマスガ……

○子爵大河内輝耕君 速記ヲ止メテ戴キタ

○委員長(伯爵林博太郎君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵林博太郎君) デヤ速記ヲ始メマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ次ハ東京市ノ財政ノ問題デ質問致シマスガ、先日伊藤府會議長ノ名デ以テ、東京市ノ稅ハ非常ニ負擔ガ重クナル、以前ハ家屋稅ニセヨ、地租ニセヨ、營業稅ニセヨ、家屋稅ハ地方稅デアルノデスガ、又外ノ二ツノ稅ハ賦課稅デアル要ラナイ稅ハ取ラズニ濟ンダケレドモ、今度ハサウデヤナイ、還付稅デアルカラ、地方團體ガ欲シナイデモ何デモ、好ムト好

マザルトニ拘ラズ、是ダケノ稅ハ課ケラレル、餘リ極端ナコトヲ言ヘバ、是ハ私ノ想像デスガ、餘ツテ困ル場合モ出ナイトモ限リマセス、斯ウ云フコトヲ言ハレテ來タノデス、ソレデ此ノコトヲ伺ヒタインデスガ、

第一ニ、豫備ノ質問トシテ伺フノハ、市町村

村稅グトカ獨立稅ダトカト云フヤウナモノハ、アレハ地方團體ニ依ツテ課ケテモ課ケナ

クテモ宜イモノデスカ、ソレトモ課ケナクテハナラヌモノデスカ、如何ナモノデスカ

○政府委員(挾間茂君) 獨立稅ノ中、市町

村民稅ハ御承知ノ通り負擔分任ノ精神ヲ此ノ制度ノ上ニ現スト云フコトデゴザイマシテ、大體各團體トモ何レモは賦課スペキ性質ノ稅デアルト存ズルノデアリマスガ、其ノ他ノ獨立稅ニ付キマシテハ、各團體ニ於キマシテ、是ハ單リ大都市ニ限ラズ、必

要ト認メザル場合ニ於テハ是ハ賦課致サナ

イデモチットモ差支ナイ稅デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマスト、最高一千圓ト云フコトハ必ず守シテ課ケナケレバイケナイコトニナリマスカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 内務大臣ニデスカ

○子爵大河内輝耕君 イヤ、地方局長ニデスカ

○政府委員(挾間茂君) 絶對的ニ取ラナケ

レバナラヌト云フスウ云フ強制ハゴザイマセスケレドモ、先刻申シマシタヤウナ稅ノ性質デゴザイマスカラ、成ルベク賦課サセル方針デ居ルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 アノ二千圓ト云フモスカチヨット見込ガ分ラナイノデゴザイマス

○政府委員(挾間茂君) 現行制度ニ依ルモノデゴザイマセウカ

○子爵大河内輝耕君 市町村稅ハ課ケナクテハイケナインデスネ、外ノ雜種稅ミタイン課ケテモ課ケナクテモ宜イ稅、其ノ課ケテモ課ケナクテモ宜イ稅ト云フモノハ稅額ニシテドノ位ニナリマスカ

○政府委員(挾間茂君) 是ハ賦課シテモセナイデモ差支ナイ稅ニナリマスノデ、改正後ニ於キマシテドレ位東京市アタリハ課ケマスカチヨット見込ガ分ラナイノデゴザイマス

○政府委員(挾間茂君) 現行制度ニ依ルモノデゴザイマセウカ

○子爵大河内輝耕君 改正案デス

○政府委員(挾間茂君) 是ハ賦課シテモセナイデモ差支ナイ稅ニナリマスノデ、改正後ニ於キマシテドレ位東京市アタリハ課ケマスカチヨット見込ガ分ラナイノデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ改正前ハドノ位デスカ

○政府委員(挾間茂君) 領ニ付キマシテハ、只今調べマシテ早速御答ヘ申上ゲマス

○子爵大河内輝耕君 ソレガ知レナイトチヨットアトガ困ルノデスガ、併シ其ノウチニ知レマセウカラヤツテ居リマス、東京市ノ言フ所ニ依ルト、千萬圓ダケ負擔ガ殖エルト云フコトデス、殖エルト云フモノガ厭ナラバ、私ハ市町村稅ヲ減シテモ宜イト思ツテ居

リマス、考へヤウニ依リマシテハ、ヤッテモヤラナクテモ宜イ税ナドハスカリ廢メテモ宜イト思ヒマス、尤モ税ノ性質ガ違ヒマスカラ、是ハ私ガ言フヤウニ簡單ニハ行キマスマイガ、我々が考ヘルヤウニ簡單ニ假ニ行グモノトスレバ、税ハサウ云フ風ニシテモ宜イグラウト思フノデアリマスノデスカ、如何ナモノデスカ

○政府委員(挾間茂君) 御尋デゴザイマスガ、東京市ノ負擔が非常ニ増加スルト云フニハ考ヘテ居ナイノデゴザイマス、成ル程市町村民税ト云フモノハ新しく出來ル譯デゴザイマスガ、一面ニ於キマシテ、所得税ニハ是ガ廢止ニナツテ居リマス、御存ジノヤウニ東京市ハ、現在所得税附加税ハ制限率本税ニ付七錢ガ二十一錢ヲ賦課シテ居リマス、大體三倍ノ制限外課税ヲ致シテ、東京市ハ一錢達ヒマスト七八十萬圓ノ違ヒニナリマスノデ、其ノ點ハ非常ニマア減税ニナルト云フ譯デゴザイマス、ソレカラ家屋税ニ付キマシテハ、先日モアチラノ委員會デ御尋ガアリマシテ、十三年度ノ調定額ハ大體二千三百萬圓デゴザイマス、ソレガ自然増收ヲ見込ミマシテ、此ノ十五年度ニ於キマシテ、大體二千四百數十萬圓ニナルト思フノデアリマス、今度ノ改正案ニ依リマシテ、東京市二千五百萬圓程度ニナルグラウト思ヒマス、是ハ向フノ委員會デ御述ニナリマシタノガ三千何百萬圓ト云フノデスガ、コチラノ調べデハ二千五百萬圓程度デス、ソレカラ賃貸價格ノ問題、是ハ各府縣マチニナツテ居リマシテ、東京府ニ付テ、ハツキリト申上ゲ兼ネマスガ補整ヲ致シマスト、ソコニ賃貸價格が合理、適正ニナル譯

デアリマスカラ、其ノ上デナイトハツキリ分リマセヌガ、現在ノ賃貸價格ノ下ニ於キマシテモ、大體其ノ程度ニナルド存ジテ居ルテモ宜イグラウト思フノデアリマスノデスカ、東京市ニ於キマシテ、雜種税附加税が大體六百萬圓、ソレカラ市ノ特別税ガ五百萬圓デゴザイマスガ、是ハ遊興税ガ十三年度ニ入ツテ居リマスカラ、十五年度ノ見込ミデハ餘程達ツテ參リマスト思ヒマスガ、十三年度デハ斯ウ云フ風ナ數字ニナツテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ斯ウ云フヤウニ承知シテ宜シイノデスカ、地租ハ減ルトソレカラ營業税モ減ルト、併シ家屋税デハ増スダラウ、ソレデ結局其ノ三税ヲ通じテ、從來ニ於テト餘リ變ラナイ、斯ウ見テ宜イノデスカ

(副委員長男爵松岡均平君 委員長席ニ著ク)

○政府委員(挾間茂君) 家屋税モ今申シマシタヤウニ大シタ違ヒガナインオデ、賃貸補整ノ結果ハ、是ハ一應ノ見込ミデゴザイマスガ、現在全國ノガ十八億圓位ニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ相當無理ナ賃貸價格ノ決定ニナツテ居リマス、政府デ之ヲ合理的ニ補整ヲ致シマスト、十五億圓内外ニナルノデアリマシテ、是ハ先年廣田内閣當時ニ、家屋税ヲ國稅ニ移管致ス際見込ミハ、十二億前後ニナル見込ミダッタノデアリマス、其ノ後ノ増加ナリ、賃貸價格ノ變更等ヲ見込ミマシテ見マシテモ、大體十五億圓前後デヤナイカト思ヒマス、サウ云フ關係デ、私ハ家屋税トシマジテモ、餘云ト、ソコニ賃貸價格が合理、適正ニナル譯

リマスガ、是ハ一應ノ見込ミデゴザイマシテ、斯ウ云フ關係デ、大シタ增徴ハ此ノ三シテモ、大體其ノ程度ニナルド存ジテ居ルノデアリマス、負擔關係ニ於キマシテハ、相當是正サレルヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ今ノ獨立税ノ問題デゴザイマスガ、東京市ニ於キマシテ、雜種税附加税が大體六百萬圓、ソレカラ市ノ特別税ガ五百萬圓デゴザイマスガ、是ハ遊興税ガ十三年度ニ入ツテ居リマスカラ、十五年度ノ見込ミデハ餘程達ツテ參リマスト思ヒマスガ、十三年度デハ斯ウ云フ風ナ數字ニナツテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ斯ウ云フヤウニ承知シテ宜シイノデスカ、地租ハ減ルトソレカラ營業税モ減ルト、併シ家屋税デハ増スダラウ、ソレデ結局其ノ三税ヲ通じテ、從來ニ於テト餘リ變ラナイ、斯ウ見テ宜イノデスカ

(副委員長男爵松岡均平君 委員長席ニ著ク)

○政府委員(挾間茂君) 家屋税モ今申シマシタヤウニ大シタ違ヒガナインオデ、賃貸補整ノ結果ハ、是ハ一應ノ見込ミデゴザイマスガ、現在全國ノガ十八億圓位ニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ相当無理ナ賃貸價格ノ決定ニナツテ居リマス、政府デ之ヲ合理的ニ補整ヲ致シマスト、十五億圓内外ニナルノデアリマシテ、是ハ先年廣田内閣當時ニ、家屋税ヲ國稅ニ移管致ス際見込ミハ、十二億前後ニナル見込ミダッタノデアリマス、其ノ後ノ増加ナリ、賃貸價格

リマスガ、是ハ一應ノ見込ミデゴザイマシテ、斯ウ云フ關係デ、大シタ增徴ハ此ノ三シテモ、大體其ノ程度ニナルド存ジテ居ルノデアリマス、負擔關係ニ於キマシテハ、相當是正サレルヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ今ノ獨立税ノ問題デゴザイマスガ、東京市ニ於キマシテ、雜種税附加税が大體六百萬圓、ソレカラ市ノ特別税ガ五百萬圓デゴザイマスガ、是ハ遊興税ガ十三年度ニ入ツテ居リマスカラ、十五年度ノ見込ミデハ餘程達ツテ參リマスト思ヒマスガ、十三年度デハ斯ウ云フ風ナ數字ニナツテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ斯ウ云フヤウニ承知シテ宜シイノデスカ、地租ハ減ルトソレカラ營業税モ減ルト、併シ家屋税デハ増スダラウ、ソレデ結局其ノ三税ヲ通じテ、從來ニ於テト餘リ變ラナイ、斯ウ見テ宜イノデスカ

(副委員長男爵松岡均平君 委員長席ニ著ク)

○政府委員(挾間茂君) 家屋税モ今申シマシタヤウニ大シタ違ヒガナインオデ、賃貸補整ノ結果ハ、是ハ一應ノ見込ミデゴザイマスガ、現在全國ノガ十八億圓位ニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ相当無理ナ賃貸價格ノ決定ニナツテ居リマス、政府デ之ヲ合理的ニ補整ヲ致シマスト、十五億圓内外ニナルノデアリマシテ、是ハ先年廣田内閣當時ニ、家屋税ヲ國稅ニ移管致ス際見込ミハ、十二億前後ニナル見込ミダッタノデアリマス、其ノ後ノ増加ナリ、賃貸價格

場合ニ於キマシテハ勅令モ改正ヲ致シマシテ、元ニ戻スト云フコトニ付テハ政府ハ全ク今大河内君ノ意見ト同ジ考ヲ持ッテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 尚此ノ運用ニ付キマ
シテハ文部省ノ教育ノ方ニモ大變關係ガア
ル問題ト存ジマス、ドウカ文部省ト打合セ
下スツテ隔意ナキ了解ヲ遂ゲテヤツテ戴キタ
イト存ジマス、ソレデ私ノ質問ハ終リマス
（改題長白尋木丸にて那吉委員長祐一復）

○橋本辰一郎君 私ハチヨット地方局長ニ
ス

シテ御伺ヒ致シタイト思ヒマスガ、住民税ハ之ヲ地方團體ニ御任セニナルト云フコトニナツテ居ルサウデアリマスガ「サウ致シマラウカト云フコトヲ非常ニ恐レマシテ、此ノ地方團體ニ御任セニナルノハ宜イト致シマシテモ、大體ノ課稅ノ決定方針等ニ關スル大綱ハ、内務省ヨリ全國ニ劃一的ニ御示ニナル必要ガアリハシナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ方法ヲ御執リニナリマスデゴザイマセウカドウデゴザイマセウカ○政府委員(挾間茂君) 市町村民稅ハ全戸數割ト同様ナ弊害ニ陥ルト云フコトハ極力避ケナケレバナリマセヌノデ、制度ノ上ニ於キマシテモ嚴重ニ制限ヲ受ケテ居リマスガ、御存ジノ通り最高額ヲ決メマスシ、又制限外課稅ヲ全然許シマセヌト云フヤウニ致シテ居リマスガ、尙此ノ外ノ方法ニ付キマシテ初メテノコトデゴザイマスカラ色々思料スベキ問題ガアルト思ヒマス、例ヘバ課稅標準ノ取方ニ付キマシテモ大體ノ方

針ハ示サナケレバナテ又カト思シテ居ルノデ
アリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ此ノ地
方稅ガ斯ウ云フ風ニ根本的ニ變リマスノデ、
色々ノ會合ヲ催シマシテ十分趣旨ヲ徹底致
サセタイト存ジマスガ、更ニ只今御述ニナ
リマシタヤウナ點ニ付キマシテハ其ノ外ノ
大切ナ問題ト併セマシテ、通牒ニ依リマシ
テ政府ノ方針ヲ一般ニ指示スル考デ居リマ
ス

○橋本辰一郎君 此ノ住民稅ハ戸主ダケニ課スルノデアリマスカ、又戸主ト同居ヲ致シテ居リマシテモ獨立ノ生計ヲ營ンデ居ル者ニハ賦課スルコトガ出來ルノデアリマセウカ

○政府委員(挾間茂君) 獨立ノ生計ヲ營ンデ居リマスレバ納稅義務者ニナル譯ニアリマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマスルト云フト全國デ課稅ヲ受ケル者ハ何人位ノ御豫定デゴザイマセウ

○政府委員(挾間茂君) 是ハ大體ノ見越デゴザイマスガ、千三百四十萬人位デアリマシテ、ソレニ免稅ヲ受ケル者ガ或程度アルト思ヒマス、尙今回ノ稅制ニ於キマシテハ法人ニモ賦課ヲスルコトニナリマスノデ、此ノ數ハチョット只今ノ處、調ヲ致シテ居リマヌヌデゴザイマス、今申上ゲマシタノハ個人ノ總數デゴザイマス

○橋本辰二郎君 法人ヲ加ヘマスルト云フト相當ノ數ニ上ルデアラウト思ヒマスガ、免稅ヲ受ケルモノト法人ノ數トハ略、見合フヤウニナリマセウカ、又相當チ其處ニ差ガアリマセウカ

○政府委員(挾間茂君) 此ノ免稅ヲ受ケマスモノノ數ハハツキリト致シマセヌケレド

モ、法人ダケニ付テ申上ゲマスト大體本店
ノ數ガ全國デ八萬位ゴザイマス、尙支店等
ニ付テモ斯ウ云フ團體ガ全然別個ニナッテ
居リマスレバ課稅ヲ致スコトニナリマス、
其ノ數ハ只今調ガ付テ居リマセヌ、本店ダ
ケハ八萬デゴザイマス

○政府委員(挾間茂君) 是ハ大都市ガ八圓
デ町村ガ六圓ニナツテ居リマスガ、其ノ間ノ
納稅義務者ノ數モ違ツテ居リマスノデ、チヨツ
ト計數ヲ申上ゲマスト、六大都市ガ大體平
均シマシテ最高ハ八圓デゴザイマスガ、マ
ア七圓見當ヲ課ケルモノト假定ヲ致シマシ
テ調べマスト、二百三十六萬前後ノ納稅
義務者ガアルト思ハレマスノデ千六百五
七萬圓程度ノ市町村稅ガ上ルモノト思ヒマ
ス、其ノ他ノ都市ニ付キマシテハ六圓ガ制
限デゴザイマスガ、大體五圓見當デ課稅ヲ
スルト假定致シマシテ總數二百十五萬九千
人バカリノ納稅義務者ガアルノデアリマシ
テ、稅總額一千七十九萬圓バカリニナリマ
ス、町村ガ四圓平均ニナツテ居リマスガ、是
モ先ヅ内輪ニ見マシテ、三圓平均位ノ課稅
ヲスルデアラウト思ハレマスノデ、此ノ納
稅義務者ノ總數ガ七百六十二萬餘デアリマ
シテ、稅額二千二百八十六萬圓程度ニナル
カト存ジマスルガ、之ヲ合セマシテ大體五
萬圓デ押ヘルト云フ御話デアリマスガ、ソ
レハドウ云フ風ニ調整按配爲サルノデアリ
マセウカ

○橋本辰二郎君 此ノ課稅額ノ最高ハ決メ
テアリマスルガ最低ハ御決メニナッテ居リ
マセヌデスカ

○政府委員(挾間茂君) 最低ハ定メテ居リ
マセヌ、是ハ各團體ニ依リマシテ相當少額
ノ所迄納稅額ヲ認メテ行ツテ差支ナイノデ
アリマス

○橋本辰二郎君 地方局ノ御考デハ最低八
ドノ位迄ニナリ得ルデアラウト云フ所ズ、セ
ウカ
○政府委員(挾間茂君) 是ハドウモ各團體
區々デアリマシテ、御承知ノ通リ戸數割モ
隨分小額迄參ッテ居リマス、ソレデ假ニ之ヲ
五十錢位ニ致シマシテモ、從來戸數割ハ何
期カニ分ケテ取ツテ居リマシタガ、今度八十
月一日ニ一度ニ賦課致シマスノデ、相當小
額迄賦課シテモ、從來ノ課稅手續ノ手數力
ラ見マスト、大シタ面倒ナク課稅ガ出來ル
ノデハナイカト存ジテ居リマス
○橋本辰二郎君 法人ノ本店所在地ニ於ケ
ル事業ヨリモ、寧ロ支店若シクハ出張所ノ
仕事ノ方ガ實際上大キイモノモアリマスガ、
斯ウ云フ場合ニ本店ナルガ故ニ餘計課スル、
支店トカ出張所ハ名前ガ小サイカラ、仕事
ハ餘計シテ居ツテモ少ク査定スルト云フヤウ
ナコトガアリ得ルト思ヒマスガ、サウ云フ
モノハドウ云フ風ニ御取扱ニナリマセウカ
○政府委員(挾間茂君) 是ハ法人ニ付キマ
シテハ、各支店ナリ、出張所 本店ニ付キ
マシテ其ノ團體ノ課稅標準ノ決定ニ依ツテ
色々ナルト思ヒマスガ、大體其處ノ純益
トカ或ハ家屋ノ大小トカ云フヤウナコトヲ
標準ト致シマスノデ、必ズシモ本店ニ高ク

支店ニ安イト云フヤウナコトニハ相成ラ
イグラウト存ジテ居リマス

○橋本辰二郎君 個人デ各所ニ住宅ヲ持ツ
テ居ル者モ相當アラウト思ヒマスガ、ソレ
等ニ付キマシテハ矢張リ其ノ人ノ財產トカ
地位トカラ標準ニシテ、各地ニ於テ課セラ
レルト云フコトニナルト非常ニ高イモノヲ
各所ニ於テ負擔シナケレバナラヌノデ非常
ニ困ルグラウト思ヒマスガ、サウ云フモノ
ハドウ云フ風ニ御取扱ニナリマスカ

○政府委員(挾間茂君) 御尤モデゴザイマ
シテ是ハ同一ノ市町村内デアレバ個人ハ一
箇所ニ於テノミ課稅ヲ受ケル譯デアリマス
ガ、町村ヲ別ニ致シテ居る場合ニハ其ノ人
ノ所得資產等ヲ綜合致シマシテ、各課稅ヲ
致シマス團體ノ間ニ十分聯絡ヲ執ツテ課稅ヲ
致サセルヤウニ致シタイト思フノデ、從ヒ
マシテ、例ヘバ東京ニ居住シテ居ル人ガ鎌
倉ニ別莊ガアルト致シマスト、鎌倉ニ於キ
マシテハ其ノ人ノ資力全體ヲ標準トシテ賦
課スルノデハナク、例ヘバ其ノ別莊ノ家、
屋敷ト云フモノヲ標準トシテ賦課致シマス
トカト云フヤウナ手段ヲ執ルコトニ致シタ
イト思フノデアリマス、此ノ點ハ、市町村民
稅ヲ賦課致シマス場合ニ十分斯ウ云フ方法
ヲ考慮セシメマスルヤウニ指示致シタイト
存ジテ居リマス、サウ云フコトニ致シマシ
テ、此ノ稅ガ過重ヲ來スト云フコトハ絶對
ニ避ケタトイ思セマス

○橋本辰二郎君 大體分リマシタデゴザイ
マスガ、此ノ稅ハ、アナモ御認メニナツテ
イラッジヤル通リニ動モスレバ戸數割ノ弊
害ヲ再燃セヌニモ限ラヌト思ヒマスデ、
ソレ等ノ弊害ヲ防グ爲ニ、先程私ノ希望致
シマシタヤウニ大體ノ課準ニ關スル方針、其
於ケル綜合所得ノ超過累進稅率ニ相當スル

ノ他重要ノコトニ付キマシテハ本省ヨリ指
令ヲ御發シニナリマシテ、偏頗ナル取扱ノ
出來ナイヤウナ豫防ヲ爲サルコトハ勿論必
要ト思ヒマシテ、其ノ點ヲ望ンデ私ノ質問
ハ是デ終リマス

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ地方
局長ヘノ御質問ハ全部ソレデ宜シウデゴザ
イマスカ、大藏大臣ハモウ暫クスルト見エ
マス

○子爵大河内輝耕君 私ハ大藏大臣ガ御出
デニナリマス前ニ、チヨット主税局長ニ御尋
ネシテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 宜シウゴザイ
マス、大河内子爵

○子爵大河内輝耕君 主税局長ニ御尋ネ致
シマスガ、法人稅ノ十七條ノ同族會社ノ率
デスガ、アレハ御話ニ依リマスト、個人ノ
稅ト同ジニ見タト云フ御話ナンデスガ、其
ノ計算ガ私ニハ能ク分ラナイノデスガ、モ
ウ少し分ルヤウニ具體的ニ御述ヲ願ッタラ
如何デセウ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ法人稅法
ノ第十七條ニ「同族會社ガ各事業年度ニ於
テ留保シタル金額中左ノ各號ノ一一該當ス
ル金額アルトキハ政府ハ其ノ事業年度ノ所
得ヲ年額ニ換算シタル金額中五萬圓以下ノ
金額ニ百分ノ二十、五萬圓ヲ超ユル金額ニ
四十、五十萬圓ヲ超ユル金額ニ百分ノ五十、
百分ノ三十、十萬圓ヲ超ユル金額ニ百分ノ
百萬圓ヲ超ユル金額ニ百分ノ六十五ヲ乗ジ
タル合計金額ノ所得年額ニ對スル割合ヲ求
メ之ヲ稅率トシテ」云々ト斯ウアリマシテ、
此ノ各段階ニ應ジテ「パーセンテージ」ヲ異
ニシテ居リマスルノガ大體個人ノ所得稅ニ
於ケル綜合所得ノ超過累進稅率ニ相當スル

モノニナル計算デゴザイマス
○子爵大河内輝耕君 甚ダ恐縮デスガ、ド
レカーツノ例ヲ取ッテ、サウシテサウナラナ
イ、サウ云フ風ニ同ジニナルト云フコトヲ
ハ是デ終リマス

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ一番最後
ノ所ヲ見マスト云フト、個人ノ所得稅ニ於
キマシテ八十萬圓以上ガ百分ノ六十五ノ稅
率ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ同族會
社ノ加算稅ノ稅率ハ「百萬圓ヲ超ユル金額
ニ百分ノ六十五ヲ乘ジタル」ト云フ風ニ致
シマシテ、多少百萬圓ト八十萬圓ノ所デ金
額ノ違ヒガアリマスケレドモ、是ハ同族會
社ノ株主ガ時ニ一世帶、三世帶ニ跨ル場合
モアルノデアリマスカラシテ、之ヲ全ク同
一ニスルノハ幾分酷ニ當ル場合モアリマス
ノデ、多少右ノ點ヲ考慮致シマシテ、金額
ノ區切リヲ上ニシテ居ルノデアリマスガ、
大體ニ於キマシテ最高稅率ハ百分ノ六十五
トナツテ居ルノガ其ノ例デゴザイマス
○子爵大河内輝耕君 ソコデ疑ガ起ッテ來
ルノデスガ、ドノ同族會社モ同ジ均一ニ斯
ト同ジニナツテ居レバ宜クハナイノデスガ、
ソレノ何割減ッタト云フコトニナレバヨク
分ルノデスガ、何割ト云ツテモムツカシイ
カモ知レマセヌガ、サウ云フ風ニ幾ラカ開
キガアルノハドウ云フコトカト云フト、具
體的ノモノデナク同族會社ハ寄リ集リダカ
ラト云フダケノ説明デ、ソレハ如何ニモ御
尤モト思フノデスケレドモ、要スルニ其ノ
差ヲ付ケタ率ト云フモノハ別ニ之ト云ッテ
標準モナイ、露骨ニ言ヘバ腰ダメダト云ツテ
宜イノデスネ

○政府委員(大矢半次郎君) 申ス迄モナク
同族會社ト申シマスノハ、其ノ株主ノ一人
ト特殊關係ニアルモノガ其ノ會社ノ株式ノ
レカーツノ例ヲ取ッテ、サウシテサウナラナ
イ、サウ云フ風ニ同ジニナルト云フコトヲ
ハ是デ終リマス

○子爵大河内輝耕君 變ニ思フノハ目ノ子
ナンデスガ、十萬圓ヲ超ユル金額ト云フモ
ノハ百分ノ四十アル、是ハ此方ノ取得稅
ノ方ト同ジナンデス、ソレガ八萬圓ト云フ
コトニナルト、八萬圓ヲ超ユル金額ニナル
ト三十二減ッテ來テ居ル、是ハ如何ニモ變デ

○子爵大河内輝耕君 チヨット速記ヲ止メ
テ戴キマス
○委員長(伯爵林博太郎君) 速記ヲ止メマ
ス

(速記中止)

○子爵大河内輝耕君 チヨット速記ヲ止メ
テ戴キマス
○委員長(伯爵林博太郎君) 速記ヲ止メマ
ス

○子爵大河内輝耕君 變ニ思フノハ目ノ子
ナンデスガ、十萬圓ヲ超ユル金額ト云フモ
ノハ百分ノ四十アル、是ハ此方ノ取得稅
ノ方ト同ジナンデス、ソレガ八萬圓ト云フ
コトニナルト、八萬圓ヲ超ユル金額ニナル
ト三十二減ッテ來テ居ル、是ハ如何ニモ變デ

スネ、是ハマア斯ウ云フコトヲ生ズルノハ
仕方ガナインデスガ、ドウモ政府委員ノ御
説明ノヤウニ一定ノ標準デキチント決メタ
モノトハ思ヘナイ、先づ此ノ位ノ所デ宜カ
ラウト云ツテ決メタンデヤナイカト思フノ
デス、決シテ無理ヲ言フノデハアリマセヌ
ガ、ドウデセウカ

○政府委員(大矢半次郎君)　是ハ個人ノ綜合所得ニ於ケル税率ノ刻ミト全ク同様ニ致スト云フコトモ一ツノ行キ方ト存ジマスルケレドモ、左様ニ致シマスレバ寧ロ此ノ一定額ヲ超過シタ留保所得ハ各株主ニ配當シタモノト見做シテ、加算税額ヲ計算スルト

云フコトハ最モ徹底シタ行キ方カト思フノ
デアリマスケレドモ、是ハ實際ノ行キ方ト思フ
シテナカニ煩雜ニナリ、殊ニ事業年度ガ
一年一事業年度ニナツテ居レバ其ノ點モ容
易デアリマスケレドモ、一年二期ノ事業年
度ニナツテ居ル場合等ニ於キマシテハ、相當
計算モ複雜ニナルト云フ關係モアリマスル
ノデ、同族會社ニ對スル加算稅ハ幾分個人
ノ綜合所得稅ノ場合ヨリモ簡略ニ致シテ居
リマスル結果、御質疑ノヤウナ點ガ現レテ
參ツタ次第ゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 是デ止メテ置キマス、
チヨット速記ヲ止メテ下サイ

○委員長(伯爵林博太郎君) 速記ヲ止メテ
下サイ

(速記中止)

○委員長（伯爵林博太郎君）速記ヲ始メマス
○子爵三島通陽君 私ハ入場税ノコトヲ少シ伺シテ見タインデアリマスガ、此ノ入場税ハ現在ノ我ガ國ニ於キマシテハ誠ニ實情ニ即シタ法案デアルト考ヘマス、誠ニ能ク出來

シ是ガ恒久的ナ性質ガアルカ、又ハ戰時
特別稅デアルカト云フヤウナコトヲ考ヘマ
スト少シ疑問ヲ持チマスノデ、其ノ點ヲ伺
ヒタイト思フノデアリマス、若シ是ガ恒久
的ナ性質ヲ持ツノデアルトスルナラバ此ノ
課稅ノ對象ニナツテ居リマスモノヲ檢討致
シマスト、是ハ文化的使命ヲ持ツテ居ルモ
ノモ、ソレカラ單ナル「アミューズメント」、
娛樂ト言ヒマスカ、サウ云フ方面ノモノト
アルヤウニ思フノデアリマス、此ノ文化的
使命ヲ持ツモノニ付キマシテモ亦是ガ「通
リアルヤウニ思ハレルノデ、一方ハ藝術的、
文化的使命一方ハ假令ソレガ觀覽「スポー
ツ」デアッテモ國民ノ體力向上ニ好影響ヲ及
スペキモノガアルヤウニ思フノデアリマシ
テ、若シサウデアルトスルナラバ是ガ支那
事變ガ大體終リマシタナラバ、何トカ此ノ
稅法ハ考慮サルベキモノデハナイカト思ハ
レマス、併シ若シ是ガ戰時ノ稅デアルナラ
バ、是ハ少し中途半端ニ思ハレルノデアリ
マシテ「ウォータックス」ト言ヒマスト語弊ガ
アルカモ知レマセヌガ、非常時ノ稅法デア
ルナラバ、「アミューズメント」ト云フヤウ
ナモノニ對シテハ、稅ハモット之ヲ高クシ
テモ宜イノデハナカト思ハレマス、惡性
「インフレーション」ノ傾向ガ現レテ參リマ
ストドウシテモ此ノ「アミューズメント」ト
云フヤウナモノニ民衆ガ走ルヤウニナリマ
シテ、ソンナ所ガ一種ノ「バロメーター」ノ
ヤウニ見ラレルヤウナ場合モアリマスノデ、
我ガ國モ今サウ云フ方面ニモ或ハ少し危險
性ガアルノデヤナカト思ハレマス、サウ
云フヤウナ方面カラ見レバ、寧ロ又別ニ斯
ウ云フ方面ハ「ウォータックス」ガ掛ケラレ

テ宜イノデハナイカトモ思ハレマス、將來若シ入場稅ヲ増稅サレルト云フヤウナコトニデモナルナラバ、ソレハ「ウオナタックス」、非常時稅トデモ申シマスカ、サウ云フ意味デサレナケレバナラナイノデハナイカトモ考ヘラレルノデアリマス、デ外國ノ例ハ私能ク存ジマセヌガ、第一次「ヨーロッパ」大戰ノ時ニ、私アチラニ居リマシタ時ハ、相當「ウォアタックス」ノ入場稅見タヤウナモノハ稅率ガ高カツタノデハナイカト思ヒマスノデ、何カサウ云フ調デモアレバ序ニ伺ビタイト思フノデアリマズ

案ニ於キマシテハ、入場モ恆久稅ト致シテ居ルノデアリマスルガ、此ノ課稅ノ對象ニナルモノノ中ニハ、文化的の使命ヲ帶ビテアルモノモアリ又娛樂的ノモノモアリマスノハ仰セノ通リデゴザイマス、ソレデ是ハ「ウナカラウアタックス」トシテ寧ロ適當デハナカラウカト云フ御趣旨ニ伺ヒマシタガ、此ノ入場租ノ課稅對象トナツテ居ルモノノ大部分、即チ演劇、活動寫眞ト云フヤウナモノハ、數年前迄ハ地方稅トシテ課稅サレテ居ルノデアリマシテ、我ガ國ニ於キマシテモ先ヅ久化サレテ居ルモノト申上ゲテモ差支ナイカト思フノデアリマス、勿論事變下ニアリマシテ、斯ウ云フ方面モ相當入場者ガ多クナツテ來マス關係上、時局下ニ於テ或程度殆率モ増加スル必要アリト見マシテ、此ノ度増稅ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、大體課稅率ト致シマスルト云フト、先づ此ノ程度ガ普通ノ所デハナカラウカト存ズルノデアリマシテ、以前ノ世界大戰當時ニ於キマシテ、歐洲各國ニ於テ課稅シテ居タノモ、今詳シク稅率ヲ承知シテハ居リマセヌガ、太

カノヤウニ承知シテ居ル次第アリマス、此ノ度第一種ノ場所ニ入場スル者ニ付キマシテハ、一人一回三圓以上ハ入場料ヲ百分ノ三十ト致シマシテ、此ノ種ノ税率ト致シマシテハ、相當高率ノモノデゴザイマシテ、仰セノ通り幾分「ウォータックス」ノ趣旨モ加味サレ居ルカト思ヒマス、將來此ノ事變方濟ミマシタ場合ニ於キマシテハ、文化的使命ヲ有スル方面ニ付キマシテハ、減稅スルトカ相當考慮ヲ要スルコトト存ジマス○子爵三島通陽君モウ一點序ニ伺ヒマス、今ノ御話デ能ク分リマシタ、モウ一點伺ヒタイト思ヒマスノハ、此ノ中ノ活動寫眞ニ付テ一點、是ハ少シ離レマスケレドモ、序ニ伺ツテ置キタイノデアリマスガ、ソレハ「アメリカ」カラ活動寫眞ノ「フィルム」ヲ我國ガ輸入ヲ致シテ居リマス、之ニ付キマシテ支那事變ガ始マリマシタ時ニ、何カ「アメリカ」ノ方カラ交渉ガ參リマシテ、年ニ何本・限ツテ日本ニ輸入ヲ許可シテ貴ヒタイ、ソレハ「クレデット」ナリ何ナリデ、何年カ先ニ金ヲ拂ツテ貴ヘバ宜イカラト云フ約束ヲ持チ出シテ、確カ是ガ大藏省デ許可サレタヤウニ記憶サレテ居リマス、處ガ其ノ後支那事變モ大變ニ長引キマシタシ、何本トカ言フ約束デ輸入ヲ許シタノヲ「アメリカ」ハナカノ狡クアリマシテ「フィルム」ヲ日本ニ賣渡サズシテ歩興行ト云フモノヲ申込ンデ興行ノ上リ高カラ歩合デ金ヲ取ルト云フヤウナ風ナ仕組デ日本ニ「フィルム」ヲ入レルヤウニナリマシタ、處デ其ノ「フィルム」ニ支拂フベキ金ガ次第ニ嵩シテ相當額ガ多額ニ上ツテ居ルノデハナイカト心配サレルノデアリマス、「アメリカ」カラ日本ニ「フィルム」ガ入ルト云

フコトハ、是ハ考へ方デ、色々考へラレマスガ、兎ニ角斯ウ云フ非常時ニ餘リ「アメリカ」ニ斯ウ云フコトデ金ヲ出スノハモノニ依ッテハドンナモノカ知ラント考へラレル向キモアリマス、折角入場税ノ方デ高イ税金ヲ課ケラレテモ、ソレガ興行ノ收入ノ方デハ又「アメリカ」ニ行ツテシマフト云フヤウナコトハナイノデアリマセウカ、若シ御分リナラバドノ位ニ「アメリカ」ニ支拂フベキ金ガナツテ居リマスカ、今デナクテモ宜シウゴザイマスカラ、御知ラセヲ願ヒタイト思ヒマス。

○政府委員(大矢半次郎君) 取調べマシテ後程御答へ申上ゲマス

○橋本辰二郎君 私昨日ノ續キデスガ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 宜シウゴザイ

○橋本辰二郎君 短クヤリマセウ、昨日私

ハ船舶ガ遭難ヲ致シマシテ、其ノ船體ヲ保

險會社ニ委付シタル場合ニ於キマシテ、保

險會社ヨリ船主ガ受ケル保険金ニ對スル課

稅ノ問題ニ付キマシテ、發言中ニ總理大臣

ガ御見エニナリマシテ、其ノ方ガ急グ爲ニ

私ノ發言ハソコデ中止ヲ致シタノデアリマ

ス、今日ハ其ノ續キヲ申上ゲタイト思ヒマ

ス、若シモ此ノ委付致シマシタ所ノ船體ノ

保険金ヲ、今日ノ如キ課稅上ノ御取扱ヲ受

ケマスルニ於キマシテハ、一般ノ海運業者

ハ其ノ事業ノ擴張ドコロデハアリマセス、實ニ

寧ロ其ノ事業ヲ縮小スルヨリ外ナイノデア

リマス、殊ニ一隻ヨリ持チマセス所ノ船

主ニ於キマシテハ、其ノ業務ヲ廢止スル

ノ已ムヲ得ザルニ至ルノヲ虞レルノデア

リマス、此ノ船舶委付ニ依ル保険金ニ對シ

スガ、兎ニ角斯ウ云フ非常時ニ餘リ「アメリカ」ニ斯ウ云フコトデ金ヲ出スノハモノニ依ッテハドンナモノカ知ラント考へラレル向キモアリマス、折角入場税ノ方デ高イ税金ヲ課ケラレテモ、ソレガ興行ノ收入ノ方デハ又「アメリカ」ニ行ツテシマフト云フヤウナコトハナイノデアリマセウカ、若シ御分リナラバドノ位ニ「アメリカ」ニ支拂フベキ金ガナツテ居リマスカ、今デナクテモ宜シウゴザイマスカラ、御知ラセヲ願ヒタイト思ヒマス。

○政府委員(大矢半次郎君) 取調べマシテ後程御答へ申上ゲマス

○橋本辰二郎君 私昨日ノ續キデスガ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 宜シウゴザイ

○橋本辰二郎君 短クヤリマセウ、昨日私

ハ船舶ガ遭難ヲ致シマシテ、其ノ船體ヲ保

險會社ニ委付シタル場合ニ於キマシテ、保

險會社ヨリ船主ガ受ケル保険金ニ對スル課

稅ノ問題ニ付キマシテ、發言中ニ總理大臣

ガ御見エニナリマシテ、其ノ方ガ急グ爲ニ

私ノ發言ハソコデ中止ヲ致シタノデアリマ

ス、今日ハ其ノ續キヲ申上ゲタイト思ヒマ

ス、若シモ此ノ委付致シマシタ所ノ船體ノ

保険金ヲ、今日ノ如キ課稅上ノ御取扱ヲ受

ケマスルニ於キマシテハ、一般ノ海運業者

ハ其ノ事業ノ擴張ドコロデハアリマセス、實ニ

寧ロ其ノ事業ヲ縮小スルヨリ外ナイノデア

リマス、殊ニ一隻ヨリ持チマセス所ノ船

主ニ於キマシテハ、其ノ業務ヲ廢止スル

ノ已ムヲ得ザルニ至ルノヲ虞レルノデア

リマス、此ノ船舶委付ニ依ル保険金ニ對シ

マスル海運先進國ノ取扱振ヲ見マスレバ、英國ハ勿論デアリマスガ、「ノールウェー」ニ於キマシテモ、此ノ船舶ヲ保険金ニハ課稅ヲ致シテ居ラナイノデアリマス、サウシ

テ此ノ兩國ニ於キマシテハ船主ノ得タル所

ノ保険金ヲ以チマシテ、代船ノ建造資金ニ

充常セシメルト云フ方法ヲ執ツテ居リマス、

稅ヲ致シテ居ラナイノデアリマス、

テ此ノ兩國ガ海運ヲ獎勵スルノ熱意ト、從ツテ

此ノ兩國ノ海運が非常ニ世界ニ隆タル所

ノ位置ヲ占メルノモ當然デアルト云フコト

ハ是デ分ルノデアリマス、殊ニ御承知ノ通

リ「ノールウェー」ノ如キモノハ蕞爾タル北

歐ノ小國ニ過ギマセヌ、而モ年中冰ニ閉ザ

サレテ居リマシテ、土地ハ沢寒且非常ニ瘠

地デアルニモ拘ラズ、此ノ海運業ノ發達ニ

依リマシテ相當ナル國運ノ隆盛ヲ維持シテ

居ルト云フ實況デアルノデアリマス、我ガ

國ニ於キマシテモ今日海洋ヲ利用シテ、我

ガ優秀船ヲシテ續々海外ニ進出セシメマシ

テ、世界ノ海運ノ先進國ト覇フ争ツテ角逐

スルノ機運ニ逢著致シテ居リマス、此ノ海

洋ノ利用竝ニ海運ノ發展ト云フコトハ是ハ

朝野共ニ異議ナイ所デアリマス、然ルニ

斯ウ云フ時機ニ於キマシテ政府ガ業者ヲシ

テ喜ンデ此ノ事業ニ奮闘セシメルヤウナ方

法ヲ御執リニナラズシテ、サウシテ單ニ收

稅一黠ニノミ著眼セラレマシテ、保険金ノ

如キモノハ…保険金ト申シマスノハ只今

申シマシタ船舶ノ委付ニ依ッテ保険會社ヨ

リ受ケタル所ノ保険金デアリマスガ、之ヲ

他ノ利益ト合算致シマシテ課稅標準ヲ決定

セラレルト云フコトハ、是ハ當業者ニ取り

マシテ非常ニ苦痛デアルノミナラズ、實ニ

其ノ影響ニ對スル不安ト脅威ヲ感ズルコト

ガ少クナイノデアリマス、ソレデ昨日モ申

上ダマシタガ資本金ノ少イ會社ニ於キマシ

テハ、殆ド其ノ得タル所ノ船體保険金ノ大

手許ニ差上ゲテ置キマスデ何卒事務當局ト

御協議ノ上當業者ノ希望ヲ達成スルヤウニ

特別ノ御考慮ヲ仰ギタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 答辯ハ別ニ御要

ルデ、願クバ斯ウ云フ場合ニ於テハ適當

モ今後海運國ト致シマシテ、世界ノ海運國

ノ策ヲ設ケマシテ其ノ營業ノ繼續ノ出來

ルト同時ニ新タル船舶ヲ建造致シマシテ、

之ヲ海外ニ進出セシメ仍テ以テ外國貨ノ獲

得ニ資セシメルト云フコトハ最モ必要デ

アリマスルデ、此ノ船舶ノ委付ニ依ッテ得

マシタ所ノ保険ノ處分ニ付キマシテハ、相

當ナル御考ヲ御立テニナリマスレバ、決シ

テ脱稅ト云フコトハ見ナイデ濟ムノデハナ

シテ、今迄ソレニ課稅ヲ致シテ居ルト云フ

カラウカト思ヒマス、例ヘバ英國ヤ「ノル

ウェー」デハ無條件デ是ハ免稅致シテ居リ

マスガ、我方國ニ於キマシテ若シモ脱稅ノ

カクアト思ヒマス、例ヘバ英國ヤ「ノル

ウェー」デハ無條件デ是ハ

居ル、支那事變が終了シタト云フコトニナ

レバ、一時事變ハ終了ヲシタコトニナルト

思ヒマス、是ハ昨日デシタカ大藏大臣ガ御

言明ニナツタ通リト思ヒマス、此ノ稅法ニ限

ラナイ、外ノ稅法ニモ澤山アル、併シ金ガ

要ラナクナツタ云フノデハナク、金ノ要ル

ノハ戰争ヨリ寧ロ戰後ノ方ガ金ガ要ルト云

フコトハ、是ハ日清戰爭、日露戰爭ノ例デ

明カデアリマシテ、之ニナリマスト相當時

ガアラウト思ヒマス、ソコニハ明カニ區別

ガアラウト思ヒマスガ、御見解如何デスカ、

之ハ大藏當局ニ伺ツタ方ガ宜イカ、農林當局

ニ伺ツタガ宜イカ分リマセヌガ、ドチラカラ

御答ヘ戴イテモ結構デゴザイマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 是ハ多分政府委

員カラ前ニ御答ヘ致シテ居ルカト思ヒマス

ガ、要スルニ今御話ノ通り、支那事變終了

ト云フ問題ニ對シマシテハ、昨日モ申上げ

マシタ通り、蔣介石政權ノ潰滅ト、支那ノ

新中央政權ガ總テノ點ニ於テ獨立シテヤッ

ガ、要スルニ今御話ノ通り、支那事變終了

ト云フ問題ニ對シマシテハ、昨日モ申上げ

マシタ通り、蔣介石政權ノ潰滅ト、支那ノ

新中央政權ガ總テノ點ニ於テ獨立シテヤッ

ガ、要スルニ今御話ノ通り、支那事變終了

ト云フ問題ニ對シマシテハ、昨日モ申上げ

マシタ通り、蔣介石政權ノ潰滅ト、支那ノ

新中央政權ガ總テノ點ニ於テ獨立シテヤッ

ガ、要スルニ今御話ノ通り、支那事變終了

ト云フ問題ニ對シマシテハ、昨日モ申上げ

マシタ通り、蔣介石政權ノ潰滅ト、支那ノ

新中央政權ガ總テノ點ニ於テ獨立シテヤッ

ガ、要スルニ今御話ノ通り、支那事變終了

ンデスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) マダ政府ハ實ハ

同意ヲ致シテ居リマセヌノデ、貴族院ニ

於キマシテ衆議院ノ修正ガ其ノ儘御指定ニ

相成リマシタ場合ニ於テ之ヲ尊重考慮致ス

ト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ若シ本院

デ之ヲ御認メニナリマシタ場合ニ於テハソ

レニ從フノデアリマスガ、其ノ從ヒマスル

意味ハ、特別法人稅ハ御承知ノ通り特殊ナ

チ利益ヲ本位トセズシテ公共的ニ働くコト

ヲ基本ト致シテ居ルノデアリマスカラシテ、

出來ルナラバ斯様ナル法人ニ課稅ヲ致サナ

イノガ本來ノ意味デアラウト思ッテ居リマ

ス、併シナガラ今日ノ時局デアリマスノデ、

是等ノ法人ト雖モ其ノ出資金ニ剩餘金ガ出

來マシテ、サウシテ其ノ剩餘金ガ三分以上

ニナツタ場合ニ於テノミ負擔力ガアルモノト

考ヘマシテ、即チ國家ニ協力スル意味ニ於

テ稅ヲ負擔シテ貢ヒタイ、斯ウ云フ意味デ

立案ヲ致シタノデアリマシテ、從ヒマシテ

事變が終了致シマシタ場合ニ於キマシテハ

之ヲ廢止スルト云フコトガ當然ナリトスル

衆議院ノ意嚮ニ付キマシテハ貴族院ニ於テ

御同感デアリマスレバ尊重致シタイ、斯様

ニ考ヘテ居リマス

クナイト思フ、ア、云フモノハ課稅シナイ

方ガ宜イ、併シ今ノヤウナヤリ方ヲシテ居ッ

タノデハ是ハ課稅シナケレバナラナイノ

デ、產業組合ガ自分ノ守ルベキ範圍ヲ逸脱

シマフ、外ノ仕事ハ立ツテイケナイヤウニシ

テシマフト云フコトノ場合ニナツテ對抗ガ出

是ハ自ラ亦問題ガ別ダト思ヒマス、ソレデ

農業組合ハ抑出来マシタ趣旨ト云フモノハ、

農業者ダケデハ到底商人ニ向ジテ對抗ガ出

來ナイ、對抗ガ出來ナイカラ産業組合ト云

フモノヲ設ケテ、サウシテ之ニ對シテ保護

ヲシナケレバナラヌ、ソレニハ特權ヲ無論

強クシテ置カナケレバナラヌ、特權ハ出來

ルダケ強クシテ、サウシテ農民ノ利益ヲ商

工業者ニ對シテ維持シナケレバナラヌト云

フノデ、全ク理由ノアルコトデアリマシテ、

私ハ其ノ説ニハ非常ニ賛成シテ居ル、從ツテ

今度産業組合ノ功勞者平田伯ノ銅像モアリ、

又其ノ方々ノ功勞ニ對シテ國家ガ報イラ

タト云フコトハ非常ニ宜イコトダト始終考

ヘテ居リマス、併シ今日ノヤウナ狀態ニナッ

テ來ルト、是ハ亦別ナ話ナノデ、特權ヲ利

用シテドコ迄モノサバル、他人ノ仕事ハド

ウデモ宜イノダ、自分サヘ宜ケレバソレデ

宜イノダト云フノガ只今ノ産業組合ノ態度

デアル、是ハ農林大臣ハドウ御考ニナリマ

スカ、此ノ際ニ何トカ然ルベク考ヘラ

レテ、サウシテ産業組合ハ本來ノ仕事、

即チ農民保護、自分ガ仕事ヲヤルト云ワコ

預ケル、サウシテ農民ダケデ金ノ借リラレ

ナイコトハ分ツテ居ルカラ其ノ間ニ産業

組合ガ介在スルナリ保證ノ地位ニ立ツテ

貸シテヤレバ宜イ、何モ産業組合ガ自

分デ銀行ノ眞似ヲスルト云フコトハ不都合

千萬ダ、物ヲ買フニシテモ農民ダケデハ安

イ物ハ買ヘマセヌカラ、ソコデ産業組合ハ

十分自分ノ特權ヲ利用シテ、安イ物ヲ買ツテ

逸脱シテシマッテ、自分デ商工業者ノヤウナ

仕事ヲヤルト云フコトニナツテ來レバ、是ハ

命ハ周旋役デアラウト思フ、周旋役デナケ

レバナラナイン拘ラズ、周旋役タル範囲ヲ

見デモ何デモ、ゴザイマセヌ、御答ニナル便

宜ノ爲ニ申スノデスガ、産業組合ト云フヤ

問題ガ違ツテ來ル、ソレデ私ハ假ニ、是ハ意

逸脱シテシマッテ、自分デ商工業者ノヤウナ

仕事ヲヤルト云フコトニナツテ來レバ、是ハ

命ハ周旋役デアラウト思フ、周旋役デナケ

レバナラナイン拘ラズ、周旋役タル範囲ヲ

見デモ何デモ、ゴザイマセヌ、御答ニナル便

宜ノ爲ニ申スノデスガ、産業組合ニシテシ

マフ、移シテシマフ、株式會社デモ何デ

モ…ソレハ株式會社ニシテシマフガ宜イ、

ケレドモ、何ニ付テモ本來ノ仕事ダケニ御

限リニナツテ、其ノ以外ハ外ノ組織ニシテシ

ウナモノニ付テハ、産業組合ニ限リマセヌ

ケレドモ、何ニ付テモ本來ノ仕事ダケニ御

限リニナツテ、其ノ以外ハ外ノ組織ニシテシ

ウナモノニ付テハ、産業組合ニ限リマセヌ

九

〇國務大臣(島田俊雄君)

産業組合ト他ノ

ニナリマシタノハドウ云フ譯ナ

借リルト云フコトデ、自分が貸スト云フコ

トハ間違ツタ話デスカラ、自分が貸サナイ、

トハ是ハ外ノ方ヘ御委セニナルガ宜イ、

サウシテ例ヘバ金ヲ借リルナラバ金ヲ

通ノ法人ノヤウニ、法人稅ナリ、所得稅ヲ

納メセサセラヤウナ方法ヲ執ツテ行ク、サウ云

フ風ニ貴族院ノ希望決議ニ對シテハ御ヤリ

ニナルト云フヤウナ方針デ、御ヤリニナツテ

ハ免稅スルガ宜シイ、ソレ以外ノ仕事ハ止

メラレ、バ結構ダガ、止メラレナケレバ普

通ノ法人ノヤウニ、法人稅ナリ、所得稅ヲ

納メセサセラヤウナ方法ヲ執ツテ行ク、サウ云

フ風ニ貴族院ノ希望決議ニ對シテハ御ヤリ

ニナルト云フヤウナ方針デ、御ヤリニナツテ

ハ如何カト思フノデアリマス、無論は私

ノ意見トシテ申スノデモ何デモナイ、唯御答

ニナル便宜ノ爲ニ申上ゲルノデスガ、農林

大臣ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

ハ如何カト思フノデアリマス、無論は私

ノ意見トシテ申スノデモ何デモナイ、唯御答

ニナル便宜ノ爲ニ申上ゲルノデスガ、農林

大臣ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

ハ如何カト思フノデアリマス、無論は私

ノ意見トシテ申スノデモ何デモナイ、唯御答

ニナル便宜ノ爲ニ申上ゲルノデスガ、農林

大臣ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

ハ如何カト思フノデアリマス、無論は私

ノ意見トシテ申スノデモ何デモナイ、唯御答

商工業者等トノ摩擦ト云フヤウナ點ニ付キ
マシテハ、先般豫算總會ニ於テ附帶ノ決議モ
アリ、本會ニ於キマシテモ報告ヲサレテ居
ル次第デアリマスガ、此ノ趣意ハ、當時總
理大臣ガ申上ゲマシタヤウニ、政府ト致シ
マシテハ出來ルダケ左様ナコトノナイヤウ
ニ指導ヲシテ行クト云フ考ヲ持ッテ居ル譯
デゴザイマシテ、產業組合自體ニ付キマシ
テ、其ノ活動ガ設立ノ本旨ヲ超エテ行クト
云フコトニ付キマシテハ、是ハ監督省ト致
シマシテハ十分ニ注意ヲシナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ルノデアリマス、唯此ノ組合制
度ガ出來マシテ、相當ナ年數ヲ經テ、長イ
歴史ヲ持ツテ居リ、或時代ニ於キマシテハ助
長シ、又之ヲ非常ニ補助シ、助ケテ行カチ
ケレバ發達ガ覺束ナイト云フ時代ガアッタ
ノデアリマスガ、ソレガ漸次今日デハ非常
ナ發達ヲシテ勢力ヲ持ツテ來テ、尙今日デモ
全國ノ各町村ニ於ケル小サイ組合ニ於キマ
シテハ、多數ノ中ニハ其ノ生育ノ不完全ナ
モノモアリマス、内部ノ事情ノ整ハナイモ
ノモアルノデアリマスガ、全體ト致シマシ
テハ、產業組合ガ系統的ニ非常ナ發達ヲシ
テ居ルコトハ事實デアリマシテ、是ガ一面
ニ於キマシテハ、其ノ發達ヲシテ居ル關係
ガ社會的ニモ相當ナ力ヲ持チ、影響ヲ持ツ
ト云フヤウナ事實ガアリマシテ、ソコニ或
ハ本旨ヲ逸脱シテ居ルノデハナイカト云フ
ガ、御承知ノ如ク販賣組合、購買組合ト云
風ニ見ラレル、或ハ事實本旨ヲ逸脱シテ居
ルト云フヤヴナ實例ガ又出テ來ルト云フヤ
ウナコトモ生ジテ居ルト思フノデアリマス
ガ、御承知ノ如ク販賣組合、購買組合ト云
方ノ仕事ト接觸ヲシ、摩擦ヲ生ズル、ソレ

カラ信用組合デアリマストカ、或ハ利用組合ト云フヤウナモノニナリマスト、利用組合ト云フヤウナ所カラ行キマスト、或ハ肥料屋ヲヤルトカ、或ハ病院ヲヤルト云フ風ニ、設備ヲ利用スルト云フセウニナッテ行キマスト、サウ云ツタヤウナ事柄ニナッテ、是モ場所ニ依リ、場合ニ依レバソレデ結構ナ所モアリ、丁度宜イト云フ所モアリマスケレドモ、ソレガ又ヤリ方ニ依リマスト云フト、過ギテ、ソレガ爲ニ開業ノ御醫者サンガ駄目ニナルト云フヤウナコトモアルノアリマス、サウ云フヤウナ點ニ付キマシテハ、是ハ一律ニ行ク譯ニハ行キマセヌケレドモ、即チ監督ナリ、サウ云フモノノ作用ニ依リマシテ、之ヲ適度ニ止メシメルト云フコトガ、ドウモ肝腎ナコトデアリ、ソコニ非常ニムヅカシイ點モ含マレテ居ルト思フノデアリマス、其ノ點ニ於テ出過ギルト言ヘバ、出過ギルノデアリマスケレドモ、一方ニ於テハ又ソコニ産業組合ノ效用ト云フコトモ認メナケレバナラヌノデアリマシテ、是ハ抽象的ニ申シマスレバ、逸脱ヲ防止シテ、適度ニ止メル、斯ウ云フ言葉ニナリマスケレドモ、其ノ止メル力ガ強ケレバ萎缩スル、止メル力ガ弱ケレバ出過ギル、是ハドウモ何處デモアル事柄デアリマシテ、ソコニ監督ト云フ立場カラ言ヒマスト、非常ニムヅカシイ點ガアルノデアリマス、其ノ點ハ其ノ意味ニ於テ御了承フ願ツテ置カナケレバナラヌ、信用組合ニ致シマシテモ、ルト云フコトガアリマスカラシテ、之ヲ適常ニムヅカシイ點ガアルノデアリマスガ、信バ宜イ、斯ウ云フコトデアリマスガ、信用組合ノ本質上、集メタ金ヲ組合員ニ融通スルト云フコトガアリマスカラシテ、之ヲ適當ニヤレバソレデ結構デアリマスガ、又ソ

業者ニ影響ヲ及ス、斯ウ云フコトニナシテ、事ニ依レバ地方ノ銀行ナドノ預金ガ信用組合ニ吸收サレル、斯ウ云フコトガ又起シテ來ルノデアリマシテ、ソコニモ色々ナシグザグノ關係ヲ取シテ、摩擦ト云フモノガ起ルノデアリマシテ、從ツテ私共ノ心得トシマシテハ、ドウシテモ摩擦ト云フコトハ、接觸ハ仕方ガナイ、接觸ハ仕方ガナイガ、接觸ガ摩擦ニナリ、摩擦ガ激シクナルト火ガ出ル、斯ウ云フ風ニ至ルコトハ、過ギル、産業組合ヲ或程度押ヘル、サウスルト商業者ト云フモノガ非常ニ出テ來テ、農民ガ壓迫ヲ受ケトカ、監督トカ云フモノラシテ居リマストカ、トシマシテハ、一番其ノ加減ノムヅカシイ所デ、非難ノ起り易イ所デアリマス、從ツテ特別法人トシテ產組ニ課稅ヲスルト云フ問題ニ付キマシテモ、是ハ當分ノ内ト云フノデ、今日ノヤウナ時局下ニ於テハ、負擔ノ出來ルモノハ誰デモ出來ルダケノ負擔ヲサセルト云フ精神徳稅ノ改正が出來テ居ル以上ハ、產組ト雖モ他ノ商業組合、工業組合ト云フモノガ皆特別法人トシテ課稅ヲ忍耐以上ハ、產組モ亦或程度ノ負擔ヲシテモ仕方ガアルマイ、斯ウ云フ意味デ、本來ハ課稅ヲサルベキモノデナイモノデ仕方ガアルマイト云フノデ、我々ハ消極的ナガラ同意ヲシタ次第アリマスガ、之ヲ直チニ稅ヲ掛ケラレルヤウナモノデアルカラ、ソレハ既ニ外ノ仕事ヲヤツテ居ルト云フ風ニ、產業組合ノ仕事ヲ考ヘルト云フコトハ少シク行キ過ぎタ考へ方ニナリマスカラ、是ハ

其ノ點迄考ヘテ居ラヌ次第デアリマスガ、此ノ組合ノ取締ト言ヒマスカ、監督ト云フコトニ付キマシテハ、左様ナ點ガアリマシテ、是ハ質問ヲセラレル大河内子爵ニ於キ合ノモノト云フコトニ付テハ十分御了解ヲ得テ居ルコト思ヒマスガ、抽象的ニ豫算總會等ノ決議ノ趣意ヲ了承ハ致シマスケレドモ、實行ノ上ニ於テヤリマス場合ニ、非常ニ按配ト言ヒマスカ、手加減ノムヅカリ微妙ナ關係ノアルト云フコトニ付テハ御了承ヲ願ヒマシテ、私トシマシテハ先刻ノ決議ノ御趣意ニ從ツテ、今申上げマシタヤウニ、接觸ハ是ハ已ムヲ得ナイ、併シナガラソレガ摩擦ニナリ、摩擦ガ激シクナツテソコニ火ヲ生ズルト云フヤウナコトニ至ラシメザルヤウニ成ルベク摩擦ヲ少クシ、或程度ノ滑ラカナ接觸ヲ以テ互ニ發達ヲセシメテ行クヤウニ致シタイト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、其ノ意味ダケヲ申上げテ置キマス

デスガ、今ノデ大體分ッテ居リマスガ、産業組合ト云フモノハアノ組織ノ出來タ當初ハ商工業者カラ、農民ヲ保護スルト云フコトカラ出來テ居ル、今日ノヤウニ統制經濟ダノ適正價格ト云フヤウナコトガ出來テ來ル以上、私ハモウ必要ガナイモノヂヤナカト思フ、適正價格デ賣買スレバ宜イ、賣ル時モ適正價格デ賣レバ宜イ、ソレナラバ農民ズモ出來ルノダ、金利ダッテア、云フ風ニ決ッテ居ルシ、家賃ダッテ決ッテシマッテ居ル、統制經濟時代ニハア、云フモノハ私ハ必要ナイト思フ、如何御考ニナリマセウカ

○國務大臣(島田俊雄君) 統制經濟ト云フモノニ付キマシテハ、御承知ノヤウナニ我が國ニ於ケル經濟界ノ統制ヲ行フト云フコトニ付テハ是ハ他ノ國ト趣キヲ異ニシテ居ルヤウニ考ヘテ居リマシテ、戰時ニ臨ミ、事變ニ際シテ急ニ統制ト云フコトノ必要ヲ感じテ實施致シマシタ關係上、是ハ政府トシテノ一人トシテ申上ゲルコトハ憚ルカモ知レマセヌガ、幾ラカ順逆ノ何ガアリマシテ、平時ニ於テ漸次此ノ經濟ノ活動ヲ統制シテ、ソレカラ戰時ニ臨ミ、事變ニ臨ンダト云フノデハナクシテ、事變ニ臨ンデ急ニ統制ノ必要ヲ感ジ、テ實施シタト云フ關係カラシテ、色々々ナ方面ノ統制ニ對スル不便不満ト云フモノガアリマシテ、今日ハ併シ事變ガ續キマスカラシテ段々此ノ統制ト云フコトノ必要ヲ、不平ヲ言ッタ者モ不平ナガラモ是ハ仕方ガナイ、斯ウ云フコトニ習熟シ、又サウ云フコトヲ觀念シテ來テ居ルヤウニ、國民針ニ從ツテ行クト云フコトニ習熟シ、又サウ云フコトヲ觀念シテ來テ居ルヤウニコトニ付テ、此ノ統制ノ方大多數ノ者ガ、サウ云フ傾向ニアルト考ヘマスケレドモ、尙此ノ道路ニアル、中途ニ

アルト云フヤウナ感ジヲ致シテ居ル次第デガ國ノ農村ノ狀態等ニ付キマシテハ事實ニシテ見マスト云フト、只今御話ノアリマグモウ宜イデハナイカト云フヤウニドウモマダ簡單ニソレヲ考ヘテ行クコトガ出來ナインデアリマシテ、十分ニ法規其ノ他ノコトニ付テ習熟シテ居ラナイ者ガ多イト云フヨリモ、寧ロ其ノ方ガ大多數テアリマスカラ、尙此ノ產業組合ノ組織等ニ依リマシテ相當之ヲ世話ヲシテ行キ、又指導等ヲシテ行クト云フコトノ必要ガ今日ニ於テハ尙アル、唯ソレニ付テ繰返シテ申上ゲルヤウデアリマスガ、活動ガ度ヲ過ギルト云フコトニ付テハ注意ヲシナケレバナラヌノアリマスガ、此ノモノガ既ニ今日ニナレバ必要ガナイト云フコトノ程度ニハマダ政府トシテハ考ヘテ居ラズ、私自身トシテモ其ノ程度ニ考ヘタコトハゴザイマセヌ

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、誠ニ實情ヲ御承知デ民意ヲ體得シテ居ラル、農林大臣トシテ誠ニ御同情ノアル御言葉デ、私ノ申スノハ一片ノ理論ニ過ギナインカモ知レマセヌガ、ソレダケ御同情アッテ實情ヲ洞察シテ施政ノ上ニ示サレルト云フコトハ誠ニ宜イコトダト思ヒマス、唯吳々モ其ノ爲ニ餘り行キ過ギナイヤウニ御願ヒシタノアリマスガ、斯ウ云フノハ當リ前ダノニ、検査ヲサレルト大變嫌フ、是ハ噂カモ知レマセヌガ、斯ウ云フコトハ實ニ何デスカ國民ノ負擔ノ何タルヤヲ解セザル者ノヤリ方デ怪シカラヌコトダト私ハ思フ、マアサウ云フコトハアルマイト思ヒマス、產業組合ハ政府トシテ検査ノ出來ルダケ十分厲行シテ戴キタイ、是ハ如何デアリマスカ

○國務大臣(島田俊雄君) 役員ノ銓衡ニ付キマシテハ十分御注意致シマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ今ノコトハ御考ヲ願シテ置キマス、尙一點伺シテ置キマス、實情ハドウナツテ居ルカ分リマセヌガ、大分大キナ金融業ニナリマシタノデ、金額ノ方ニ付キマシテハ大藏省モ監督サレルコトガ必要デアルト思ヒマス、是非私ハサウ願ヒタイト思ヒマスノデスガ、其ノ點ハ事實ノ方ニ付キマシテ居リマスカ、又ヤラムトシタチラバ此ノ際御ヤリニナルト云フヤウナコトニ御決メラ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 御承知ノ通り市街地信用組合ハ農林省ト共管ニシテ居リノ關係カラ主務省トシテ困難ナ事情ガアリマスケレドモ、御趣意ノ點ハ御尤モト考ヘマスシ、検査ヲ怠ルトカ、検査ヲシナイ、シテモ種々監督検査ヲ致シテ居ル譯デアリマス、尙金融上ノコトニ付テハ十分努力ヲ

シタイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 市街地信用組合バカリ、外ノ信用組合ハ大藏省トマルデ没交渉ナシデスカ、監督モ何モ爲サラナイノデスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 農村ノ信用組合及ビソレ等ノ組合ニ對シマシテハ、大藏省ガ直接ニ監督ヲ致シテ居ルノデアリマス、

市街地信用組合及聯合會、ソレカラ中央金庫、斯ウ云フ方面ニ對シマシテハ常ニ大藏省ノ方ニ於キマシテモ監督致シテ居ル譯デアリマス

○子爵大河内輝耕君 矢張リ農村ノ方ニ付テモ大藏大臣ガ御監督ニナツダラ宜イデスナ、矢張リ其ノ方ガ本物ニナツテ來レバ、結局財政ノ方ニモ影響シテ來ルシ、金融ノ方何デスカ

○子爵大河内輝耕君 矢張リ農村ノ方ニ付テモ影響シテ來ルカラ、是非是ハ御ヤリニナルベキモノデアル、御改メニナツダラ如

○子爵大河内輝耕君 矢張リ農村ノ方ニ付テモ影響シテ來ルカラ、是非是ハ御ヤリニナルベキモノデアル、御改メニナツダラ如

○子爵大河内輝耕君 大河内子爵ノ御意見御尤モト考ヘマスガ、現在ノ法制上ハサウ云フ風ニナツテ居リマスノデ、其ノ點ニ付キマシテハ更ニ考究致シテ見タイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ産業組合ノ課税ノ質問ハ私之デ止マス、ソレカラ次ニ陸軍大臣ニ願ヒタイト思ヒマスガ……

○委員長(伯爵林博太郎君) 陸軍大臣ハ御見エニナツテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 質問シテモ宜シケレバ……

○委員長(伯爵林博太郎君) ドウゾ……

○子爵大河内輝耕君 陸軍大臣ノニハ速記ヲ止メテ戴キタイ

○委員長(伯爵林博太郎君) デヤ速記ヲ止

メマス

〔速記中止〕

○委員長(伯爵林博太郎君) 速記ヲ始メマス、午後一時半ニ開會致シマス、休憩ヲ致シマス

午後零時十八分休憩

午後一時四十二分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ午前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス

○政府委員(中村孝次郎君) 午前中三島委員カラ米國映畫ノ輸入代金、或ハ其ノ興行ノ權利料送金ノコトニ付テ御尋ねガアツタ趣

○委員長(伯爵林博太郎君) 午前中三島委員カラ米國映畫ノ輸入代金、或ハ其ノ興行ノ權利料送金ノコトニ付テ御尋ねガアツタ趣

ズ、之ヲ止メテ居ツタト云フヤウナ關係、ソレカラ斯ウ云フ「クレデット」ヲ許セバ、他ノ「クレデット」輸入ノ途ガ開ケルカモ知レザイマス

ス、午後一時半ニ開會致シマス、休憩ヲ致シマス

ト云フコトガ考ヘラレルコトガ一ツ、モウツハ「アメリカ」ニ於ケル映畫會社ノ宣傳力ト云フモノガ强大デアルト云フコトモ

考ヘ合セマシテ、滯ツタ三萬「ドル」ニ相當スル權利金ヲ送金サセテ、三箇年間預金サセテ置クコトヲ認メサセマシテ、「プリント・コスト」三萬「ドル」ニ相當スル映畫ヲ

年末ニ入レサセテ吳レト云フコトニ付テヘ、年未迄ニ三萬「ドル」ニ相當スルモノヲ入レ

サセルト云フコトハ出來ナイガ、貿易ノ状況トカ、爲替資金ノ状況トカニ應ジテ成ル

サセルト云フコトハ出來ナイガ、貿易ノ状況トカ、爲替資金ノ状況トカニ應ジテ成ル

ベク之ヲ認メテヤラウト云フコトニシタ譯

デアリマシテ、只今ノ所デ約一萬「ドル」

ヲチヨット越シタ程度ノモノヲ認メテアルヤ

度デ、劇映畫等ハ一切輸入ヲ許シテ居ラナカッタノデアリマス、然ルニ一昨年ノ六月頃

「アメリカ」ノ八大映畫會社ノ本邦出張員ノ代表者カラ「グレデット」ニ依ル映畫ノ輸入

ヲ認メテ貰ヒタ伊ト云フ陳情ガアツタ譯デ

アリマス、其ノ要旨ハ當時迄ニ滯ツテ居リマシタ、所謂權利金約三百萬圓ヲ即時送ラシテ貰フナラバ三箇年間「サンフランシスコ」ノ横濱正金銀行ノ支店ニ外貨デ預金ニシテ置イテ、三箇年間ニ引出ヲセヌカラ之ヲ送ラシテ貰ヒタ伊、斯ウ云フ趣旨デアリマス、

ハ十三年ノ年末迄ノ間ニ「プリント・コスト」三萬「ドル」ニ相當スルダケノ映畫ノ輸入ヲ認メテ戴キタイ

ハナクテモ宜シト、斯ウ云フヤウナ話合

ハ永久ニ、永久ニト云フ言葉ハ惡イカモ

知レマセヌガ、然ラザル限リハ送ラシテ貰

ハナクテモ宜シト、斯ウ云フヤウナ話合

ハ永久ニト云フ言葉ハ惡イカモ

ニナツテ居ル譯デアリマス、ソレカラ歐洲方

面其ノ他ノコトニ付テ御尋ガアツタカドウ

カハ存ジマセヌガ、其ノ方面ノ映畫ニ對シ

テモ大體同ジ様ナ態度デ處理シタイト思ツ

シテ居リマス、極ク僅カバカリ今迄ノ所デ「プリント・コスト」ヲ送レバ、權利金ハ送ラヌデ

ズ、之ヲ止メテ居ツタト云フヤウナ關係、ソノデ許シタ實例ガアリマス、其ノ程度デゴノ「クレデット」輸入ノ途ガ開ケルカモ知レザイマス

ス、午後一時半ニ開會致シマス、休憩ヲ致シマス

ト云フコトガ考ヘラレルコトガ一ツ、モ

ウツハ「アメリカ」ニ於ケル映畫會社ノ宣傳力ト云フモノガ强大デアルト云フコトモ

考ヘ合セマシテ、滯ツタ三萬「ドル」ニ相當スル權利金ハ何時カハ支拂ハナケレバナラ

ノ「クレデット」輸入ノ途ガ開ケルカモ知レ

ズ、午後一時半ニ開會致シマス、休憩ヲ致シマス

ト云フコトガ考ヘラレルコトガ一ツ、モ

ウツハ「アメリカ」ニ於ケル映畫會社ノ宣傳力ト云フモノガ强大デアルト云フコトモ

ハ只今申上ゲルヤウナ救護法デアルトカ、母子保護法、或ハ少年教護法アアルトカ、社會事業法等ニ依ツテ、從來免稅セラレタルモノハ、矢張リ此ノ法令ニ命令ヲ以テ定ムル家屋ノ中ニ包含セラレテ居ルト云フ御考デ、此ノ一號乃至四號ノ列記ノ中ニ御省キ

○政府委員(大矢平次郎君) 家屋稅法案ノ
第三條ハ所謂非課稅家屋ニ關スル規定デゴ
ザイマス、從來地方稅ト致シマシテ家屋稅
ヲ施行シテ居ルノデアリマスルガ、ソレハ
各地區々ニナツテ居ル點モアリマス、又更ニ課
稅範圍ヲドウスルカト云フコトニ付テ、國
稅トシテ制定スル場合ニ十分檢討ヲ要スル
モノモアルノデゴザイマス、從ヒマシテ此
ノ第三條ノ一號乃至四號ニ於キマシテハ、
此ノ際課稅セザルヲ適當トシテ明確ナルモ
ノノミヲ規定致シマシタ、其ノ他ニ付キマ
シテハ、此ノ第五號ニ於キマシテ命令ニ譲ツ
テ置イタノデゴザイマシテ、今後二箇年間
ノ調査ニ依リマシテ、必要ト認メル場合ニ
ハ、此ノ施行命令ニ依テ非課稅モノヲ決
メテ行キタイト存ジマス、今御指摘ニナリ
マジタ母子保護法ニ依ルモノ、大體社會事
業法等ニ依ルモノニ付キマシテハ御示シノ
點モアリマスノデ十分考慮致シタイト存ジ
マス

只今申上がタヤウナ種類ノモノハ、家屋税ヲ課セラレルコトニナルノデアリマスカ、如何デアリマスカ
○政府委員(大矢半次郎君) 昭和十五年
度十六年度ニ於キマシテハ、地方税シテ從來ノ通リニ取扱ハレルノデゴザイマス、十七年
度以降ハ國税トナルノデゴザイマスルガ、其ノ場合ニハ、此ノ可否ハ明確ニ規定致シタイト存ジテ居リマス
○土方久徴君 サウ致シマスルト、其ノ十七年ニ命令ヲ以テ必ズサウ云フモノハ御入
レニナルト了承致シテ居ツテ宜シウゴザイマ
スカ
○政府委員(大矢半次郎君) 必ズ課税シナ
イコトニ勅令ヲ以テ規定スルト迄ハ申上ゲ
兼ネマスルガ、十分ニ考慮シテ決メダイト
存ジマス
○土方久徴君 是ハ私ノ希望ガモ存ジマセ
ヌガ、一ツ是非サウ云フ風ニ課税外ニ置イテ
戴クコトニナリマセヌト、斯ウ云フ事業ニハ
私ハ由タシキ結果ヲ來スノデヤナイカト思
フノデアリマス、又今私ガ申上ガマシタ以外ニ
モ、之ニ類スルヤウナ相當ナ大キイ仕事ガ
アリマシテ、ソレ等ノ家屋税ニ一々課税サレ
ルコトニナリマスト、現今ノ如キ、多クハサウ
云フヤウナモノハ寄附金ニ依ルトカ、或ハ面
面ノ釀金ニ依ルトカ云フコトデ仕事ヲシテ居
ルモノガ澤山アルノデアリマスカラ、サウ云フ
種類ノ社會事業等ノ仕事ニ對シテハ、若シ
人件費ハ高クナル、ナカヽ其ノ經營ガ困
難ニナシテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ
擔ノ過重ヲ來ズコトニナルノデ、是ハ是非
從來ノ通リ課税外ニ置イテ戴クト云フコト

ト云フコトニ一ツ確然ト其ノ時ニナリマスカ
タナラバ御決メヲ頼ヒタイト思フノデアリ
マス、然ルベキ時ニ於テ大臣ニ此ノ事ヲ御
話シ下スケテ、サウ云フ御心持デオヤリニナ
ルコトヲ是非共御願ヒ致シテ置キマス

○政府委員(大矢半次郎君) 先程來御示ノ
アリマシタ種類ノ家屋ニ付テマシテハ、大
體課税シナイノヲ適當トスルヤニ考ヘテ居
ル次第アリマスケレドモ、其ノ他類似ノ
モノトノ關係モアリマスルノデソレ等ノ點
モ十分考究ノ上、之ガ可否ヲ決シタイト存
シテ居リマス

○土方久徵君 大臣モ丁度御出席ニナリマ
シタガ、大臣モ今主税局長ノ申サレル通り
ニ、同様ニ御考ニナッテ居ルモノト了解致
シテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) チヨット中座致
シマシテ甚ダ恐縮デゴザイマス、只今主税
局長ノ答辯ノアリマシタ通り、此ノ點ニ付
テ將來考究致シタイト存ジマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 此ノ程度デ
シテ居リマス

○橋本辰二郎君 チヨット一分間……石炭
ノ鑛業者ニ對シマシテハ免稅ノ規定ガアリ
マセウカ、ソレハ何箇年間稅ヲ免除スルト
云フコトニナッテ居リマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ度重要鑛
物ノ採掘ニ付キマシテ、開業ノ年及翌年カ
ラ三箇年所得稅法人稅ヲ免除スル規定ヲ新
シク設ケタノデアリマスガ、其ノ中ニ石炭
モ指定スル積リデゴザイマス

○橋本辰二郎君 積リ、ト仰シヤイマシタ
ガ、其ノ通り必ズオヤリニナルノデアリマ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ勅令ヲ以テ其ノ種類ヲ指定スルコトニナシテ居リマスルノデ、勅令ニ指定致サウト云フ積リデゴザイマス

○橋本辰二郎君 大體ニ於テ石炭ハ之ニ包含サセルモノト承ッテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 御手許ニ差上ゲテアリマスル勅令案要綱ノ中ニ明瞭ニ石炭モ記載サレテ居リマス

○橋本辰二郎君 ソレデ其ノ點ハ分リマシテゴザイマスガ、ソレハ新タニ石炭山ヲ採掘スル者ノミデアシテ、既往ノ業者ニハ均霑ヲ許サナインデゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デアリマス

○橋本辰二郎君 實ハ三箇年ノ免稅ト云フコトハ結構ト思ヒマスガ、今日殘シテ居リマスル其ノ石炭山ト云フノハ、非常ナ貧饉トカ、若シクハ非常ニ深イ所ニ在ル石炭ヲ掘鑿シナケレバナリマセヌノデ大變ナ費用ヲ要シマスシ、又採炭ニ著手シテ營業期ニ入ルト云フコトモ餘程ノ長イ時日ヲ要シマス、又澤山ノ資本ヲ要シマセウト思ヒマスガ、唯三年ダケノ何デハ、今日殘シテ居リマスル……詰リ有利ナル炭礦ト云フモノハ、悉クソレハ皆手ヲ著ケテ居リマス、唯殘シテ居リマスノハ非常ニ條件ノ惡イモノバカリデアリマシテ、今日石炭増掘ニ對スル特別ノ法案モ今委員會ニ付セラレテ居ルヤウデゴザイマスガ、新タニ採掘ヲ開始スル山ニ付テハ、是以上何カ特例ヲ御設ケニナリマセヌト、折角多額ノ獎勵金ヲ出しシテ、出炭高ノ増加ヲ圖ラウト云フ目的ニハ副ハヌカト思ヒマスルガ、此ノ新規ニ開業スルモノ

ニ對シマシテハ、何カ特別ナル御取計ラ
ヲシタイト云フ御考ハゴザイマスマイカ
○政府委員(大矢半次郎君) 従來ヨリ採掘、
採取シテ居ル鑛區デアリマシテ、業績ガ舉ラ
ナイト云フ場合ニハ純益ト云フモノガ出テ
來ナイト云フコトニナルノデハナカラウカト
思ヒマス、從ヒマシテサウ云フモノニ對シマ
シテハ所得稅、法人稅、營業稅等ノ課稅ノ問
題ガ起ツテ來ルト云フ結果ニナルト思フノデア
リマスガ、更ニ臨時租稅措置法ノ第一條ノ
六ニ一ツノ規定ガアルノデアリマシテ、「命
令ヲ以テ指定スル鑛物又ハ其ノ鑛產物ヲ產出
スル鑛業權者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該
鑛業ヨリ生ズル所得金額ニ百分ノ二ヲ乗ジ
テ算出シタル額ニ相當スル分類所得稅又
ハ法人稅ヲ輕減ス」ト致シテ居リマシテ、若
シモ從來ヨリ炭鑛等ニ付キマシテ、或程度
ノ利益所得ガ生ジタ場合ニ於キマシテハ矢
張リ此ノ臨時租稅措置法第一條ノ六ノ規定
ニ依リマシテ、課稅ノ輕減ヲ受ケル次第デ
スカ
ゴザイマス

惡クシテ、是迄採算不能トシテ、サウシテ其ノ儘捨て置カレタ、即チ放擲セラレタルモノガ多イノデアリマスカラ、ドウ致シマシテモ、斯ウ云フ山ニ著手スルニ付テハ、特ニ次ノ機會ニ於キマシテデモ、篤ト御相談ノ上ニ適切ナル一ツ處置ヲ御講ジニナルヤウニ希望致シマス。

○政府委員(大矢半次郎君) 新ラシク採掘、採取スル場合ニハ、開業ノ年及び翌年ヨリ三年間免稅スルト、斯ウナッテ居リマス、ソレカラ古クカラ採掘シテ居ルモノヲ他人カラ譲リ受ケテ新ラシク業務カラ營マウト云フモノニ付キマシテハ、此ノ二年間ノ免稅ノ規定ノ適用ガナイノデアリマシテ、サウ云フ場合ニハ此ノ第一條ノ六ノ適用ハ受ケルコトニナルノデアリマシテ、大體橋本サンノ御心配ニナルヤウナ點ハ除カレテ居ルノデハナカラウカト考ヘラレマス

○橋本辰二郎君 私ハ此ノ三箇年ノ免除ダケデハドウモ足リナイ、モウ少し年限ヲ延長シテ貴ヒタイ、是ガ實情ニ適シタ業者ノ希望ナンデアリマス、ソレデドウシテモ三箇年ダケデハ漸ク其ノ石炭山ニ著炭スル位ノ程度デアツテ、ソレヲ採掘シテ營業期ニ入ルノニハ、矢張リ相當ノ期間ヲ要スル、假ニ三年デ著炭致シマシテモ、著炭直チニ相当ノ利益ヲ上ガルト云フコトハ、貴方ノ御話ノヤウニ利益ガナケレバ課稅ハ受ケナイ、トスウ云フコトデアリマスケレドモ、ソレデハドウモ餘リ冷淡過ギルヤウニ思ヒマシテ、獎勵ノ趣旨ニ少シ背馳シヤシナイカト、斯ウ思ヒマスガ、兎モ角今直チニドウシヨウト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、當業者

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ今度新シ
ク設ケタノデゴザイマスカラ、橋本サンノ
仰シヤルヤウナノガ若シモ必要ダトスレ
バ、今後暫ク推移ヲ見テカラ考ヘテモ宜シ
クハナカト考ヘマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ位デ如何デセウ
カ、懇談會……

○委員長(伯爵林博太郎君) 如何デスカ、
此ノ邊デ 一ツ懇談會ヲヤラウト云フ御話モ
アルノデスガ、御異議ガアリマセヌケレバ
懇談會ニ入リタイト思ヒマス……、御異議ナ
イヤウデスカラ、是カラ懇談會ニ入リマス

午後二時七分懇談ニ移ル

午後三時五十五分懇談會ヲ終ル

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ是デ
懇談會ヲ閉デマス、明日ハ午後一時半カラ
開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時五十六分散會

出席者左ノ如シ

| 委員長 | 伯爵林 博太郎君 |
|------|-----------|
| 副委員長 | 男爵松岡 均平君 |
| 委員 | 公爵島津 忠重君 |
| | 侯爵細川 護立君 |
| | 侯爵筑波 藤麿君 |
| | 伯爵二荒 芳徳君 |
| | 子爵青木 信光君 |
| | 子爵大河内 輝耕君 |
| | 子爵八條 隆正君 |
| | 子爵高橋 是賢君 |